

去る3月21日は「バルブの日」だった。日本バルブ工業会が同工業会の設立日であるこの日を「バルブの日」と制定したもので、設立から70年を迎えた昨年、日本記念日協会の登録記念日に制定されている。

同工業会は現在、設立80年に向けた新たな中期計画「V80 STAGE I From Now70th」をスタートさせている。“会員の期待以上に満足度の

3月21日は「バルブの日」 80年へ新中期計画も推進

日本バルブ工業会

高い工業会を目指して、のサブテーマをもと、①サステナブルなバルブ業界へ②次世代人財育成と働きやすい職場へ③情報・事業の活性化による認知度・満足度の向上④業界ネットワーク、産官連携強化による地位向上の4つの柱を掲げた。

4つの柱に則り、製造・使用・廃棄段階において、環境負荷の少ない製品の需要喚起・供給促進を目的とした「環境配慮バルブ」の登録制度の運用や、人財育成の取り組みとして「バルブ女史ネットワーク」を発足。女性にとってより働きやすい環境づくり推進のため、現状の課題抽出・解決に向けての情報・意見交換会を定期的に行っている。また、写真と作品名をSNSに投稿するだけで気軽に応募ができる「バルブフォトコンテスト」を昨年から開催。様々な場所で生活に役立っているバルブの役割の認知向上を図っている。

同工業会会長を務める西岡利明・SANE I社長は「中期計画によって当会が社会の一員として大いに貢献できれば。また、4月からの大阪・関西万博では諸外国の方々に我々が担う社会インフラが基盤となっている快適で便利な公共施設を享受していただきたい。当会会員も万博に多数提案・協賛されており、万博が盛況となるよう期待している」と話している。

水 道 産 業 新 聞